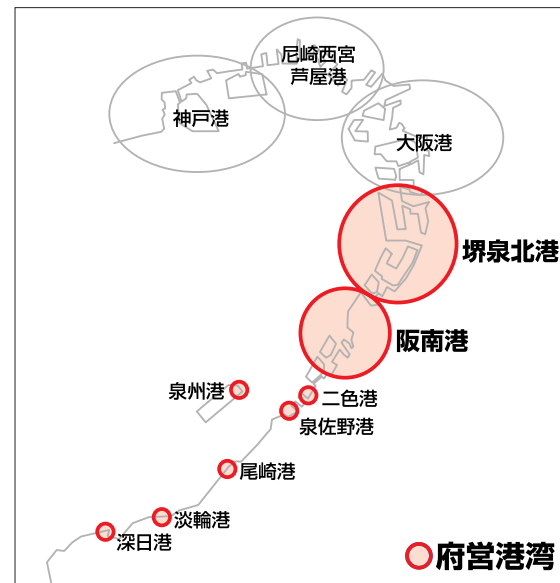


大阪府営港湾長期構想 (あすぽーと21) 概要版

大阪再生を先導する、憩い、にぎわい、やさしさを備えた
活力あふれる21世紀のみなと



平成17年6月

大阪府営港湾長期構想とは

大阪府が所管する堺泉北港、阪南港など8つの港湾について、社会経済情勢や港湾利用者・地元市町・府民の要請などを踏まえ、概ね2025年における府営港湾のあり方を将来像として示すとともに、その実現に向けて、港湾の整備・経営・振興・管理運営など多様な視点から、具体的な施策方向や進め方等を取りまとめたものです。

平成7年度策定

大阪府営港湾長期整備構想 (あすぽーと21)

目標 概ね2025年

背景

- 国際化
- 環境インフラの充実
- 産業構造の変化
- 低未利用地の活用

取り組みの基本的な方向

- 「交流とにぎわいのある」
- 「人々の生活を支える活力のある」
- 「アーバンリゾートを創造する憩いのある」
- 「美しさとやさしさのある」
- 「安全で使いやすい」

ASU PORT 21

Amenity Port

府民に親しまれるアメニティ豊かな港

Safety Port

陸海双方における安全な港

User Friendly Port

港湾利用者にとって使いやすい港

明日(あす)ポート

21世紀にふさわしい未来の港

約10年経過

社会情勢の変化

- ☆大阪経済の活力低下
- ☆港湾間競争の激化
- ☆臨海部への新産業空間としての期待の高まり
- ☆港湾運営の役割の増大
- ☆大阪湾再生への取り組みの進捗
- ☆災害やテロ対応の要請の高まり
- ☆府民意識の高まりと広域的課題の増大

平成17年度見直し

大阪府営港湾長期構想 (あすぽーと21)

目標 概ね2025年

施策の充実・転換

- 大阪経済・地域活性化への貢献
- 広域連携による効率性の向上と独自性・特殊性の発揮
- 施設整備に加えて既存ストックの維持管理と有効活用
- より効率的な港湾経営と港湾管理
- 戦略的な港湾振興によるみなとの利用促進・PR
- より一層の環境施策の推進と環境創造の場の活用
- 大災害やテロに備えた安全・安心の確保
- 広域・地域連携と利用者・住民参加

府営港湾の将来像とその実現に向けた施策等 の見直し

あすぽーと21には、目標、あこがれを表す「アスピレーション」の意味も含んでいます。

「大阪府営港湾長期整備構想」の基本理念・将来像を基本として、施策方向の面において、港湾整備だけでなく、経営・振興・管理・運営などの視点を加えたことから、名称を「大阪府営港湾長期構想」に変更しましたが、愛称については、その定着を図るため、継続して使用することとしました。また目標年次については、大阪21世紀の総合計画などの各種長期計画の目標年次と整合を図るため変更していません。

※右の語句については用語解説を参照 → 「環境インフラ」、「アーバンリゾート」、「既存ストック」、「港湾間競争」

大阪府宮港湾長期構想（あすぽーと21）の概要

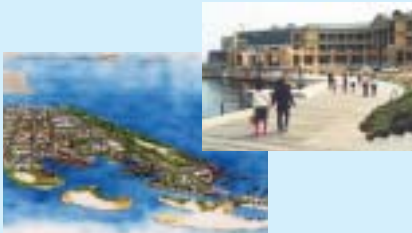
将来像

大阪再生を先導する憩い、にぎわい、やさしさを備えた活力あふれる21世紀のみなと

大阪再生を先導し、内外に開かれた活力ある港湾・産業空間



水際空間を活かした高質な環境空間と豊かな生活空間



災害・テロから人々の生活を守る安全・安心なみなと・まち



将来像の実現に向けた施策方向と進め方

施策方向 1 物流・産業の活性化により臨海部の再生を目指します。

- プロジェクト1 南大阪における物流機能の強化
- プロジェクト2 経済活動に寄与する産業空間の提供

施策方向 2 環境負荷の軽減や文化の継承に配慮しつつ、憩い・にぎわいのある、生き物にやさしいみなとづくりを進めます。

- プロジェクト3 良好な海辺空間の開放
- プロジェクト4 生き物にやさしい環境づくり
- プロジェクト5 地球にやさしいみなとづくり

施策方向 3 安全で災害に強いみなとづくりを進め府民生活と経済活動を支えます。

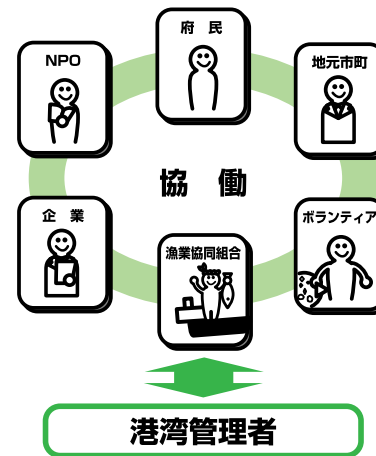
- プロジェクト6 自然災害・犯罪に強いみなとづくり

施策の進め方 1 より効率的なみなとの整備・管理・経営を進めるとともに戦略的なみなとの振興を進めます

- プログラム1 戦略的・機動的なみなとの経営と振興
- プログラム2 計画的・効率的なみなとの管理と運営

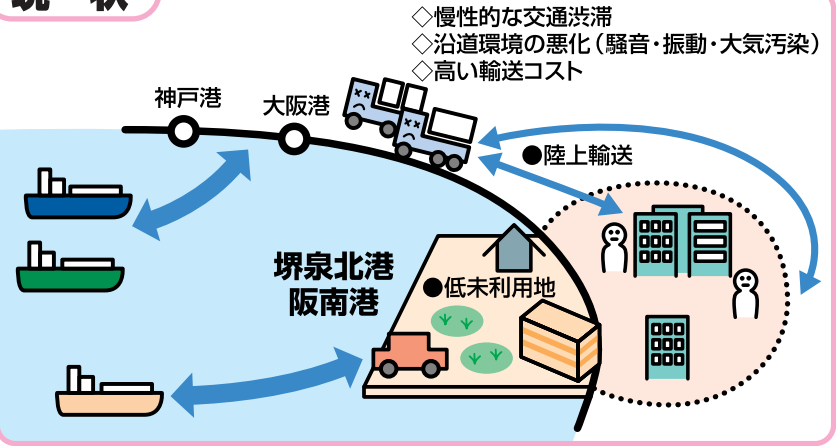
施策の進め方 2 多様な主体の参画・協働と広域・地域連携によるみなとづくりを進めます

- プログラム3 みんなで進めるみなとづくり



物流・産業の活性化により臨海部の再生を目指します。

現状

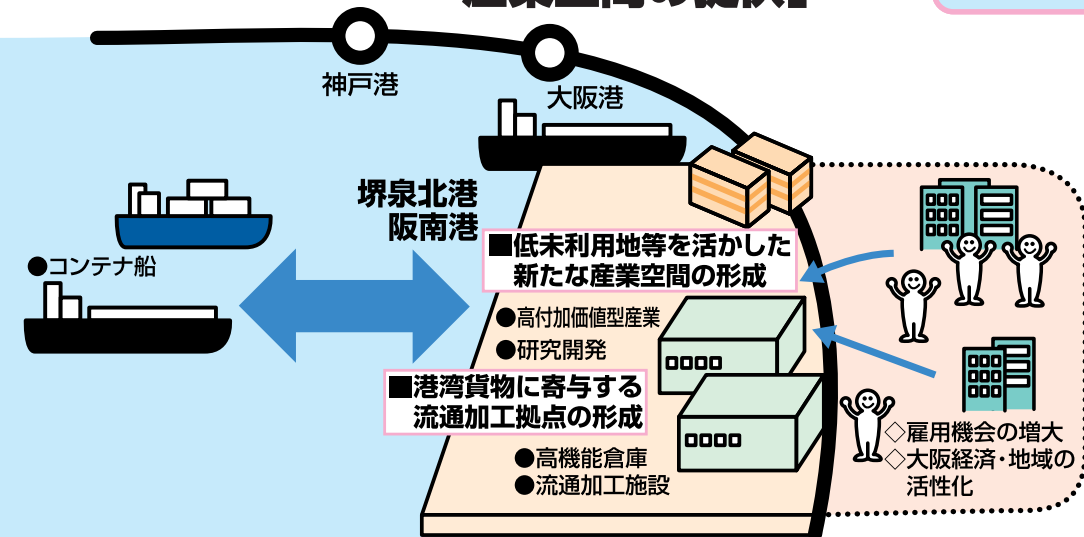


府営港湾の強み

- 陸上アクセスが良好
- 海上輸送時間が短い
- 大ロットの土地の確保が可能
- 24時間稼働が可能
- 関西国際空港に近接

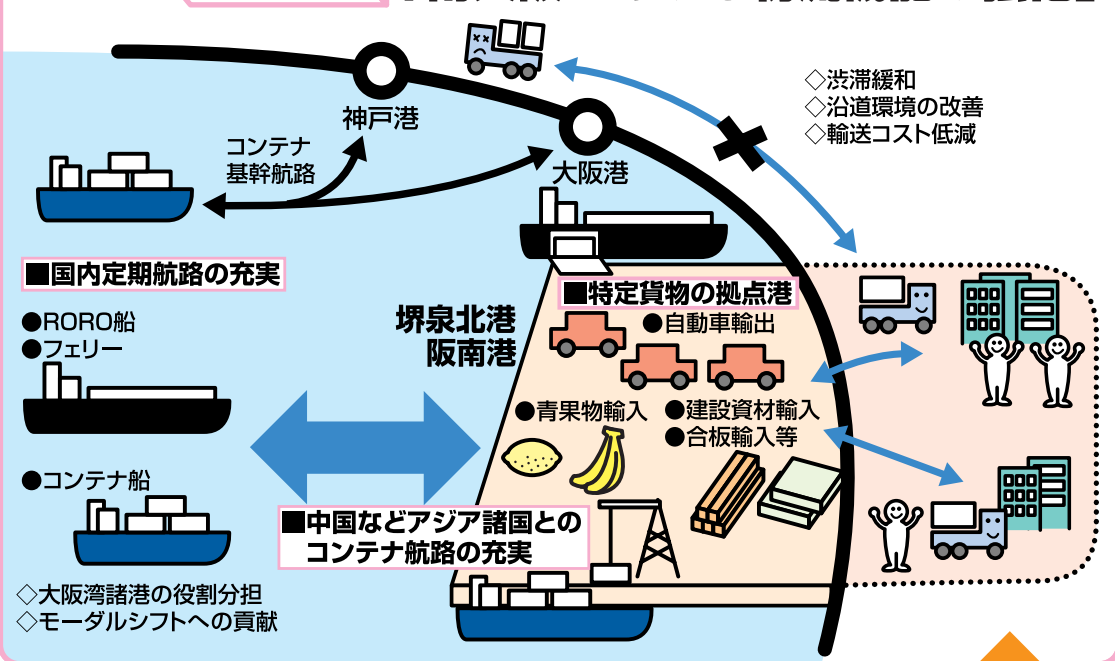
将来

プロジェクト2 「経済活動に寄与する産業空間の提供」



将来

プロジェクト1 「南大阪における物流機能の強化」



プログラム1

戦略的・機動的なみなとの経営と振興

- ・海上貨物を取り扱う生産拠点・配送センター等への重点的なポートセールス
- ・奨励金の交付制度等、地元市町等との連携による企業誘致の推進
- ・高付加価値型産業・物流拠点企業や高機能倉庫業の立地促進に向けた支援策の充実

- ・大口荷主などと連携した海外での現地商談会・セミナー等の実施による貨物集荷
- ・海上貨物を取り扱う企業の誘致
- ・税関機能など公的サービスの充実に向けた働きかけ
- ・背後圏の荷主への重点的なポートセールスによる新規荷主の誘致と定着
- ・船社・荷主・関連業者のニーズの把握とニーズに応じた対策の実施
- ・港湾コスト格差の点検と利用促進方策の検討
- ・物流関係者との情報共有化による効果的なポートセールスの実施
- ・港湾手続きの簡素化に向けたシステム構築の推進

プログラム3

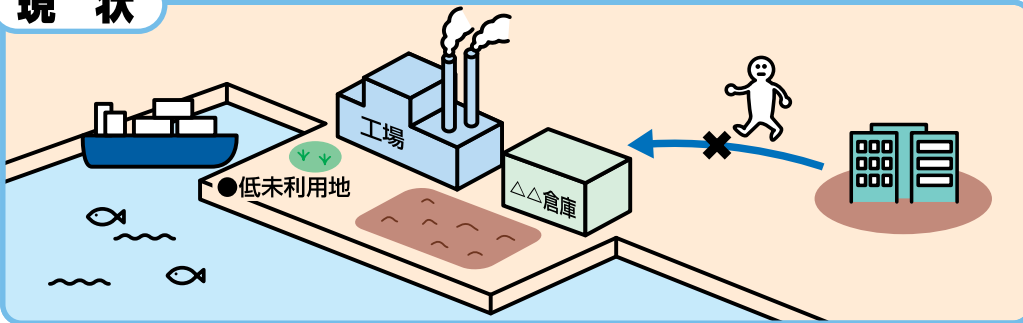
みんなで進めるみなとづくり

- ・大阪湾全体の情報システムの一元化や共同ポートセールスの実施
- ・他の港湾管理者、道路管理者等との連携による港湾物流の円滑化
- ・港湾利用者などの意見を反映したみなとづくり

※右の語句については用語解説を参照 → 「RORO船」、「モーダルシフト」

環境負荷の軽減や文化の継承に配慮しつつ、憩い・にぎわいのある、生き物にやさしいみなとづくりを進めます。

現状



プログラム1

戦略的・機動的なみなとの経営と振興

- 環境学習の場としての利用
- 港の見学会・広報誌の配布等、PR活動の推進
- 地元市町・港湾振興団体との連携によるイベント等の開催

プログラム2

計画的・効率的なみなとの管理と運営

- 港湾施設の管理・運営の民間・地元市町委託等新たな手法(PFI等)の導入

プログラム3

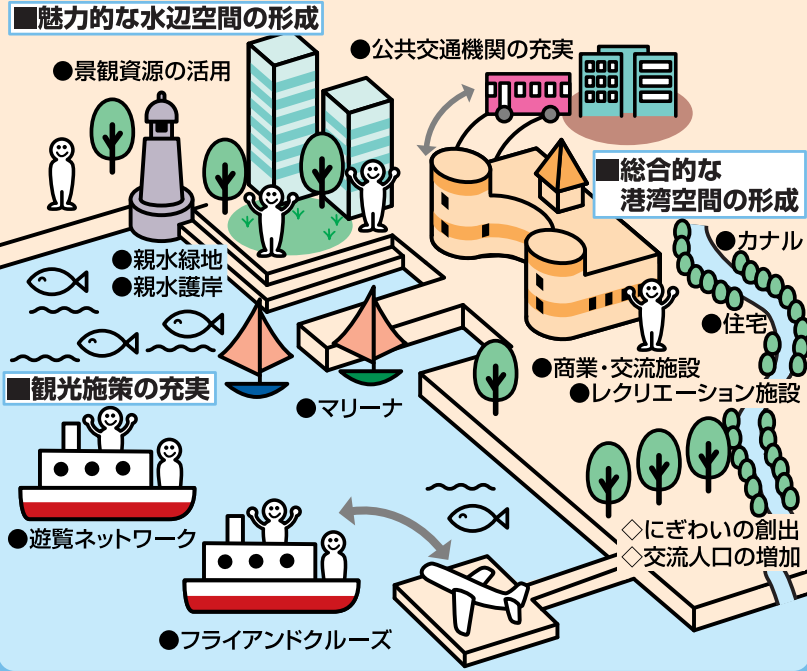
みんなで進めるみなとづくり

- 府民や港湾利用者などへのアンケートやパブリックコメントの実施等による、府民等と一体となったみなとの構想・計画づくり。
- 府民・NPO・ボランティア・漁業協同組合・企業等との協働によるみなとづくり(植栽活動・美化運動・アドプト制度等)
- 広域連携による大阪湾の再生

将来

プロジェクト3

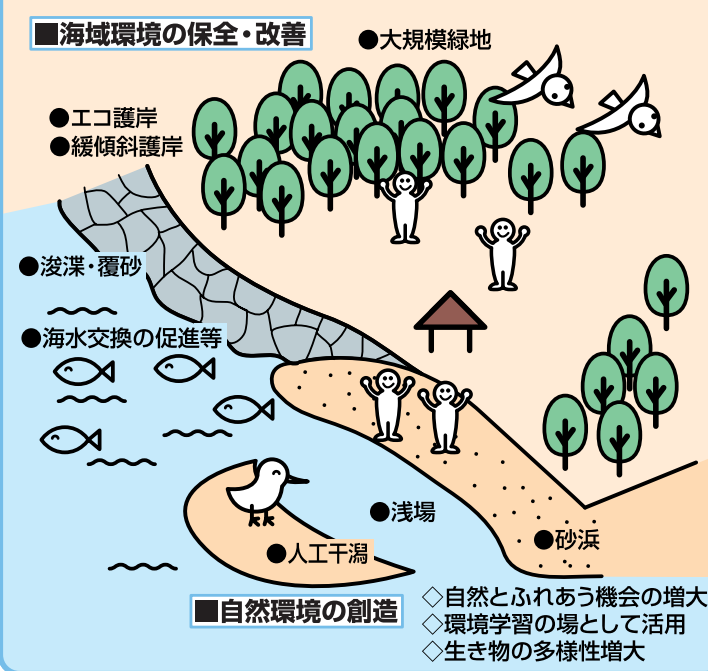
「良好な海辺空間の開放」



将来

プロジェクト4

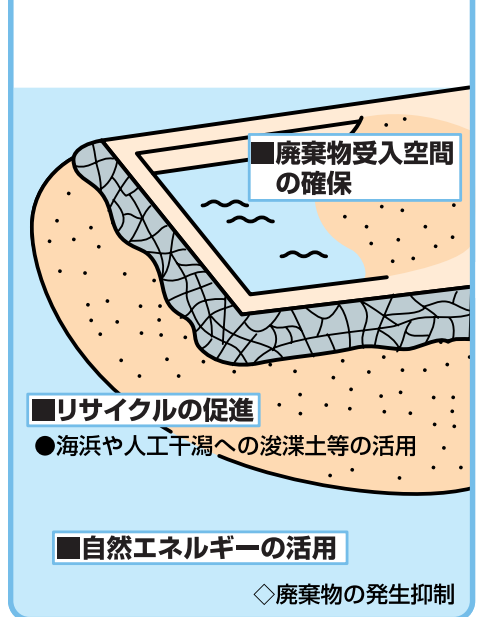
「生き物にやさしい環境づくり」



将来

プロジェクト5

「地球にやさしいみなとづくり」

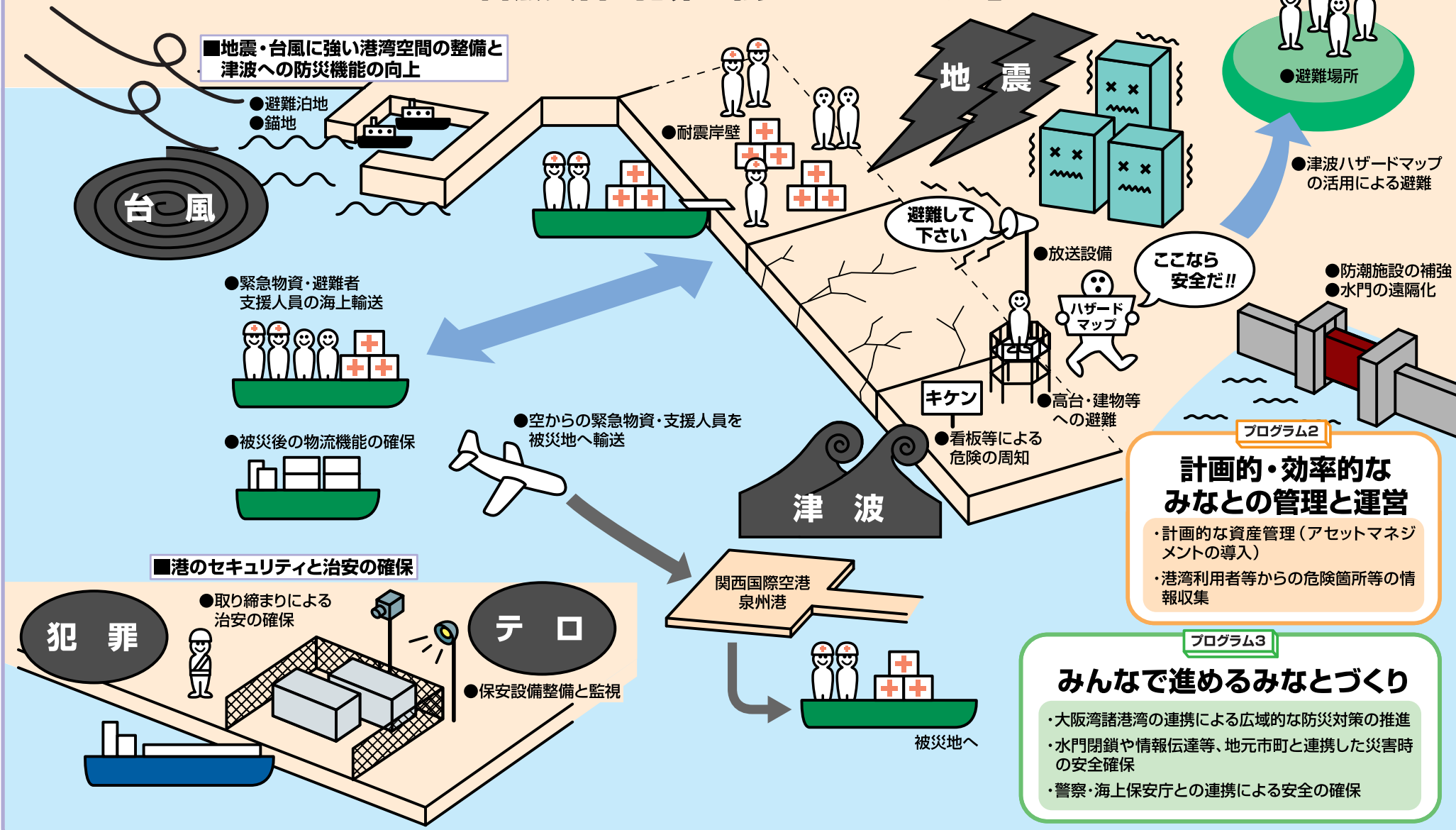


*右の語句については用語解説を参照 → 「PFI」、「パブリックコメント」、「アドプト制度」、「カナル」、「フライアンドクルーズ」、「エコ護岸」

安全で災害に強いみなとづくりを進め府民生活と経済活動を支えます。

プロジェクト6

「自然災害・犯罪に強いみなとづくり」



※右の語句については用語解説を参照 → 「ハザードマップ」、「アセットマネジメント」、「錨地」、「泊地」

大阪湾諸港湾との広域連携・地域連携と府営港湾の方向性

堺泉北港

多様な機能が調和し、南大阪地域における物流拠点として背後圏の物流効率化や経済活性化に貢献する新しいみなとづくり



泉州港

災害時にも機能を発揮する海空連携による人・物の結節点



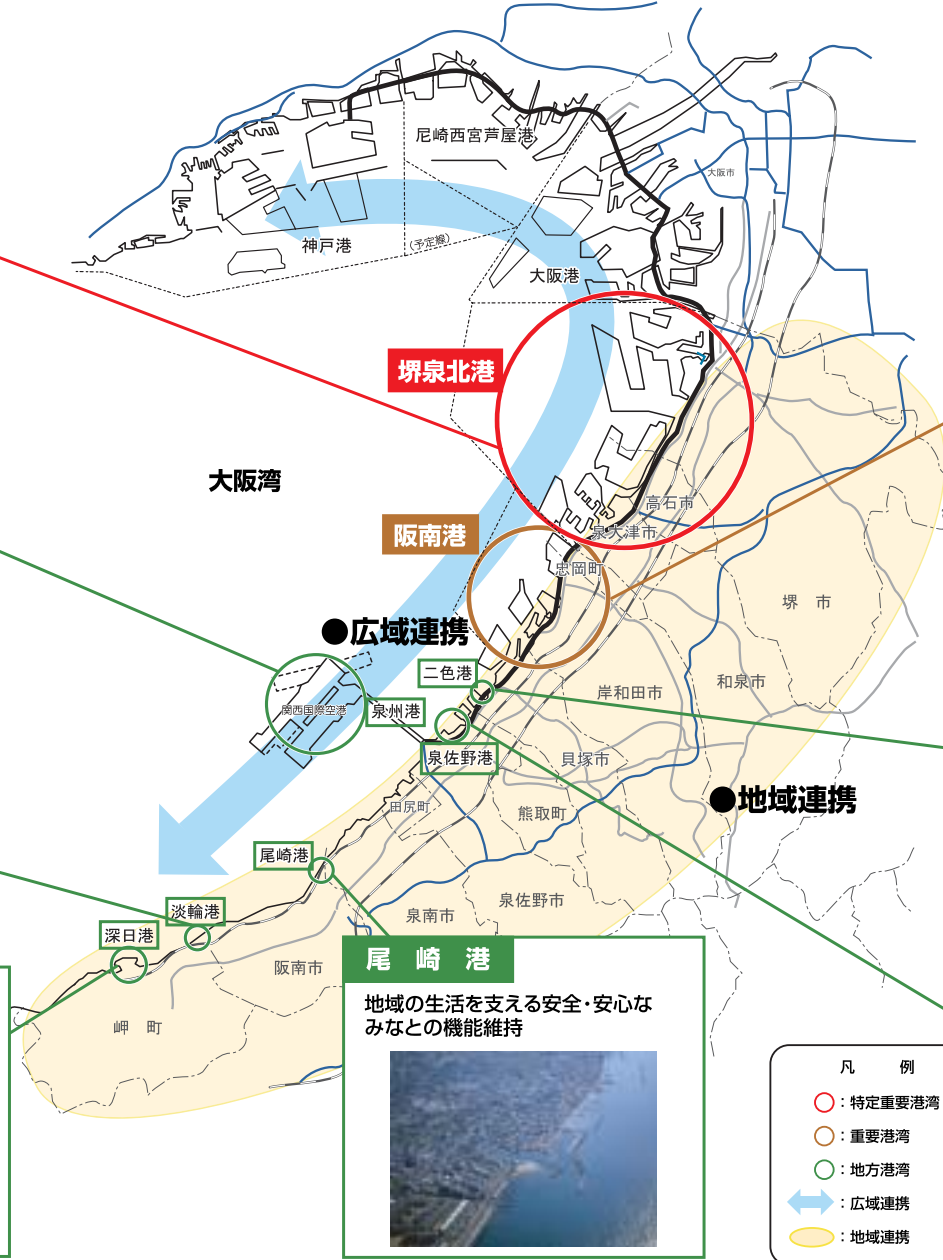
淡輪港

にぎわいあるアメニティ空間としてのみなとの機能維持



深日港

地域の活性化への寄与と、安全・安心なみなとづくり



阪南港

背後圏の物流需要への対応と利用促進、積極的な自然環境の創造によるみなとの活性化



二色港

にぎわいあるアメニティ空間としてのみなとの機能維持



泉佐野港

にぎわいと活力を備えた地域のみなとづくり



尾崎港

地域の生活を支える安全・安心なみなとの機能維持



用語解説

アーバンリゾート

都市生活の中で、身近な場所に整備されている様々な施設を利用して余暇を満喫すること。

アセットマネジメント

一般的には、資産の有効活用を図り、資産価値を増大させる運用手法のことを示すが、ここでは、港湾施設の適切な維持管理による効率的な補修によって、施設の機能維持、延命化を図ること。

アドプト制度

アドプト (adopt) とは英語で「養子にする」の意味で、アドプト制度は、地元企業や地域住民が、国や自治体の管理する道路や河川、公園等の施設を養子とみなして、清掃活動や緑化活動などを行うボランティア制度のこと。発祥はアメリカ。

エコ護岸

岸壁の下部空間や棚形状の護岸に、満潮時に冠水し干潮時に干出しする人工の「磯」を造り、水生生物の生育空間を確保及び水質改善ができるように配慮した護岸のこと。

NPO(Nonprofit Organization)

特定非営利活動法人のこと。政府・自治体や私企業とは独立した存在として、市民・民間の主體的な参加のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のこと。

カナル

陸域に人工的に設けられた親水性のある運河・水路のことであり、閉鎖された海域にカナルを設けることで、親水性の向上に加え、海水交換の向上といった環境改善効果、カナル両岸でのにぎわい創出効果も期待できる。

環境インフラ

都市域の生物相を豊かにするための緑地や海浜、歴史的や文化的な価値を有する自然環境とのふれあいを楽しめる空間、史跡・名勝と一体となった美しい景観等のこと。

既存ストック

現時点ですでに整備されている構造物や施設、機能などのこと。

港湾間競争

膨大な貨物を発するアジア地域においては、日本港湾が相対的な地位を低下させてきており、代わりに中国・アジア周辺の港湾の躍進が著しい。こういった中で貨物の取り込み・サービスの提供など港湾間での競争が激化している。

泊地

港湾内で船舶が比較的安全に停泊することのできる水面をいい、一般に防波堤、護岸等の外郭施設や、岸壁等の係留施設によって囲まれている。

ハザードマップ

地震・台風・火山噴火などにより発生が予想される災害現象（津波や高潮など）の、進路や範囲、時間などを地図に表したものの。災害予測地図。

パブリックコメント

公共政策・事業の推進にあたっての住民参加の一手法で、計画当初から情報を提供し、意見を求め、それを考慮して計画内容を改善、合意形成を進める手法のこと。

錨地

船が錨（いかり）を下ろして停泊する所。停泊地のこと。

PFI(Private Finance Initiative)

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のこと。

フライアンドクルーズ

飛行機で目的地近傍まで移動した上で、船に乗り換えてクルージングを楽しむ旅行のこと。時間の短縮とクルージングの醍醐味の双方を得ることができる。

モーダルシフト

輸送のモード（方式）を転換すること。具体的にはトラックによる貨物輸送を船または鉄道に切り換えようとする国土交通省の物流政策のこと。

RORO船(Roll On/Roll Off)

貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す（水平荷役方式）ために、船尾や船側にゲートを有する船舶のこと。